

まくだけカンタン! 速効&長持ち!  
いろいろな作物・病気に\*

農業用殺菌剤

# モンガリット<sup>®</sup> 粒剤



\*対象の作物と病害をラベルで確認してください。

モンガリットは三井化学クロップ&ライフソリューションズ(株)の登録商標です。

農業用殺菌剤

# モンガリット® 粒剤

有効成分：  
シメコナゾール 1.5%



ガードは広いぞ!

- 根からすばやく吸収され、速効性に優れる
- 残効性に優れる
- 抗菌スペクトラムが広い
- 粒剤なので処理が簡単

## 適用病名と使用方法

2023年10月18日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シメコナゾールを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病 疑似紋枯症 (褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症 (赤色菌核病菌) 疑似紋枯症 (灰色菌核病菌) 疑似紋枯症 (褐色菌核病菌) 稲こうじ病 墨黒穂病	3~4kg/10a	収穫30日前まで	2回以内	湛水散布	2回以内 (移植時までの処理は 1回以内)
	穂枯れ (ごま葉枯病菌) 穂枯れ (すじ葉枯病菌)	4kg/10a				
こんにゃく	白絹病	4~6kg/10a	培土時 (但し、収穫120日前まで)	3回以内	株元散布 (散布後土寄せ)	3回以内
キャベツ	株腐病	6kg/10a	定植前	1回	全面土壌混和	1回
ごぼう	黒あざ病	9~18kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	1回
非結球レタス	すそ枯病	9~12kg/10a	定植前	1回	全面土壌混和	1回
レタス		ビッグベイン病				
にんにく	黒腐菌核病	18kg/10a	植付前	1回	全面土壌混和	6回以内 (植付前は1回以内、 植付後の株元散布は 2回以内、 散布は3回以内)
	白絹病	6kg/10a	土寄せ時 (但し、収穫75日前まで) (莖葉展開期)	2回以内	株元散布	
ねぎ	黒腐菌核病	6kg/10a	生育期 (但し、収穫14日前まで)	3回以内	株元散布	3回以内 (は種時は1回以内)
	小菌核腐敗病	4~6kg/10a				
	白絹病		は種時			
	小菌核病			1回	土壌表面散布	
黒穂病	1回	土壌表面散布				
にら	白絹病	6kg/10a	定植前	1回	作条土壌混和	1回
ほうれんそう	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	4~6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	1回
未成熟とうもろこし	紋枯病	6kg/10a	収穫7日前まで	2回以内	株元散布	2回以内
とりかぶと(薬用)	白絹病	9kg/10a	培土時	3回以内	株元散布 (散布後土寄せ)	3回以内

**使用上の注意事項**

- 稲に使用する場合は、散布に当たっては、湛水状態(水深3cm程度)で重複をさけ均一に散布し、散布後は少なくとも3~4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、止水期間中の入水は静かに行うこと。なお漏水の激しい水田では使用をさけること。
- ねぎの定植後に使用する場合は、冬季に定植する作型では生育が抑制されるおそれがあるので使用をさけること。
- ねぎ及びにんにくの白絹病に使用する場合は、土寄せ前~土寄せ後に本剤を株元散布すること。
- 本剤が不均一に混和された場合、葉害(生育抑制)を生じるおそれがあるので、十分に混和すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

**安全使用上の注意**

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 使用の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。



**貯蔵上の注意**

直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。  
○本剤は小児の手の届く所に置かないでください。○空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。 \*本製品は農業用殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には、使用しないでください。  
\*本印刷物は2023年10月18日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成しています。

取扱い



**三井化学クロップ&ライフ  
ソリューション株式会社**

東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイヤビルディング  
ホームページ <https://www.mc-croplifesolutions.com>

MRT1GI1R